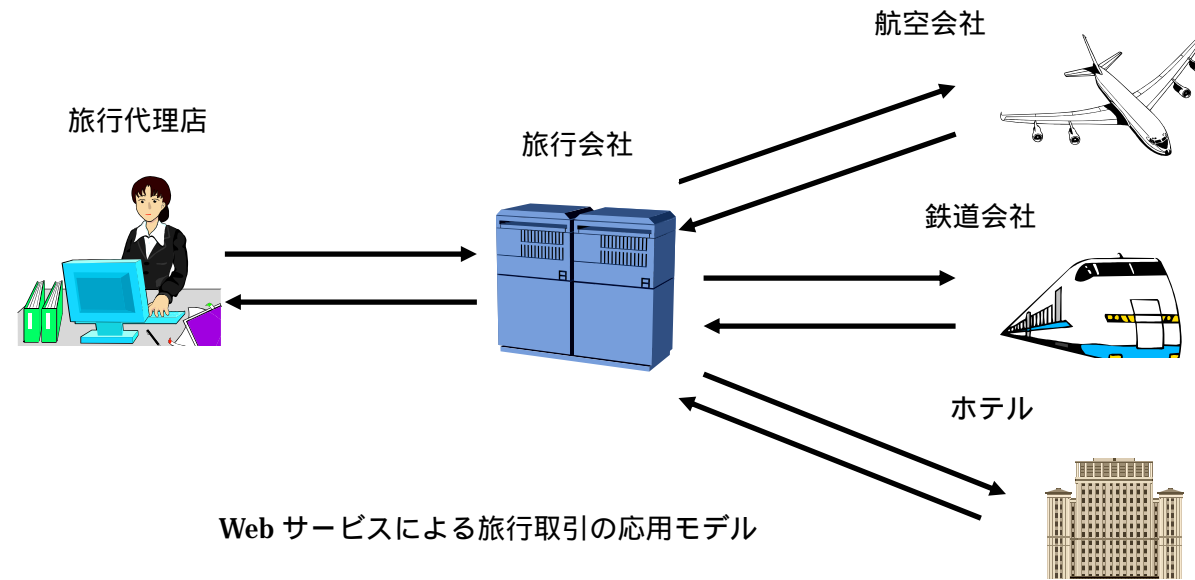


応用技術部会のWebサービス技術実証デモでセキュリティとビジネストランザクションを扱うシナリオとしてTravelXMLを使用したシナリオを提示する。

1. TravelXMLについて

Webサービスの応用事例として良く引き合いに出されるモデルとして旅行予約取引があります。しかし、それらは旅行会社を通して航空機座席やホテルを予約するものであり、旅行会社は予約の代行業務を行っているにすぎません。日本でも出張する場合などはこの形態ですが、欧米の旅行会社はこのような取引を行う場合が殆どです。



日本には団体で旅行するパッケージツアーの旅行形態がありますが、上記モデルではこうした取引を行うことが出来ません。TravelXMLはXMLコンソーシアムが日本旅行業協会(JATA)と協力して、日本独自の商形態である旅行企画商品(パッケージツアー)についての企業間での取引を、旅行業者を中心に旅行代理店、宿泊施設、航空機会社等を連携する為の取引メッセージとしてXML標準化したものです。今後は列車予約、決済業務の他、施設情報、観光情報等を含める事を検討しています。

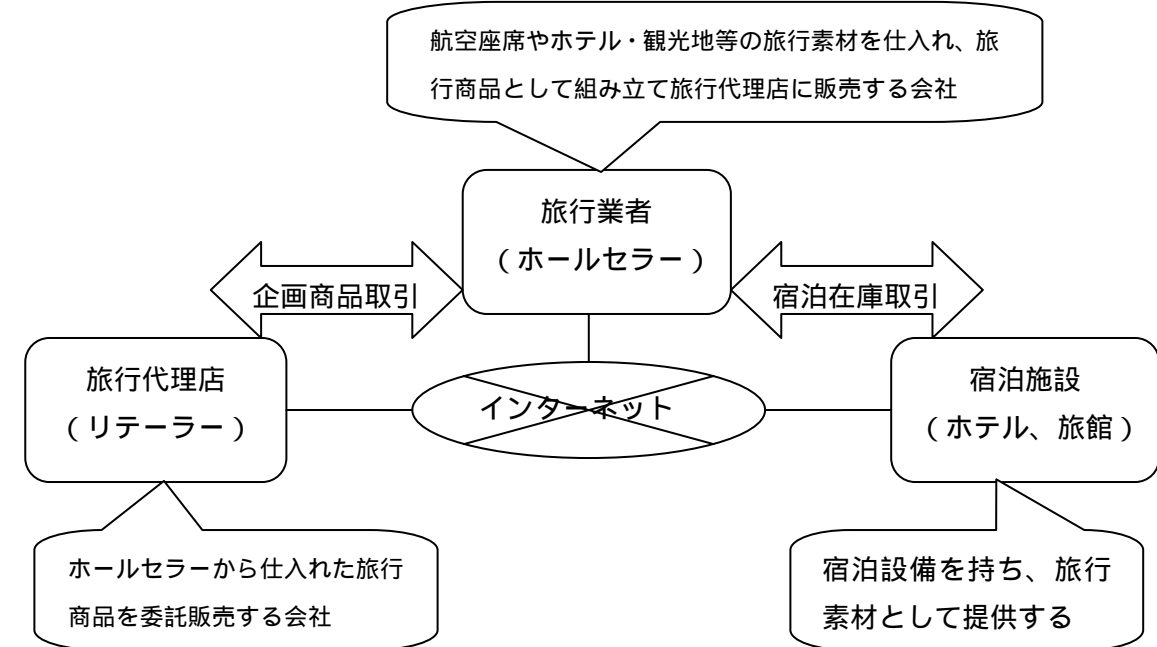
TravelXMLでは、メッセージとしてのXML標準のみで、そのシステム間の通信モデル等には言及していません。これをWebサービス等を使用してシステムとして実際に構築することに意味があります。また、単に情報の参照連携ではなく、インターネット上で複数システムを連携して予約業務や変更、取り消しによるビジネス業務を行う取引があり、セキュリティやビジネストランザクションの実証モデルに適すると考えます。

今回のデモでは旅行業者、旅行代理店、宿泊機関の取引に範囲を限定します。

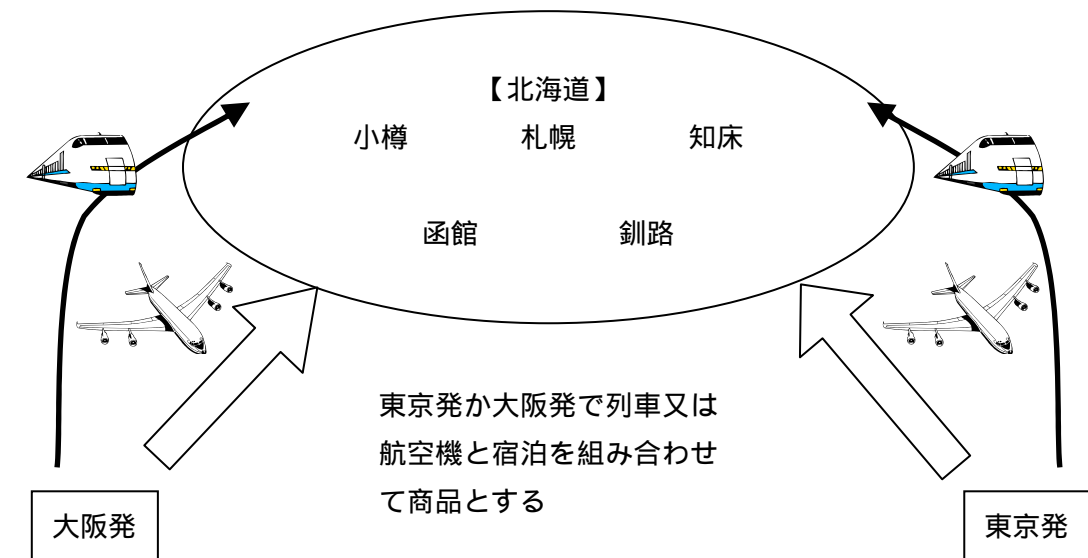
1月27日の応用技術部会WGにてTravelXMLの特徴である在庫取引を取り入れたデモシナリオとする事を決定しました。このため、在庫取引を前提としたデモシナリオに修正しました。

2. デモの概要

TravelXMLのデモ対象モデル

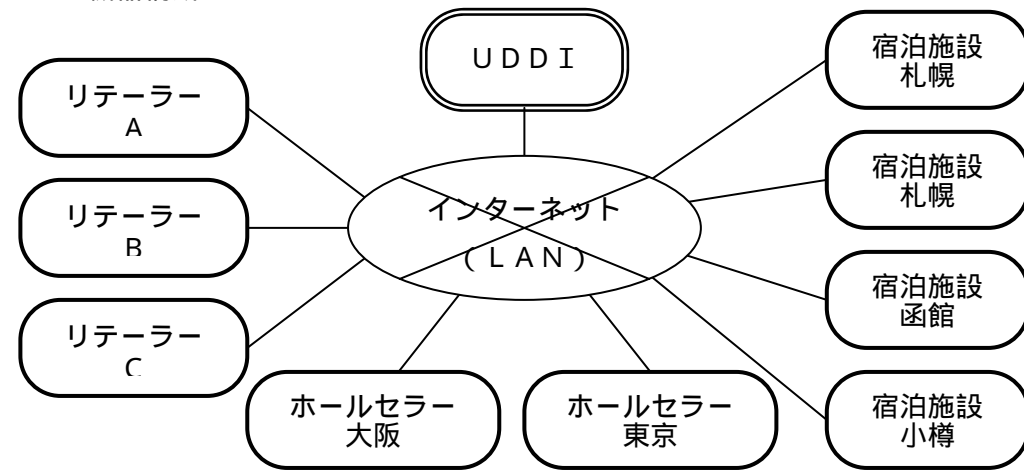


旅行商品については具体的に以下のような構成を考えています。東京又は大阪発の北海道周遊旅行です。列車でも航空機でも組み合わせが可能であり、北海道周遊なら2泊・3泊以上の旅行が企画しやすいと思います。ホールセラーは東京発か大阪発か又は両方を扱います。宿泊施設希望に合わせて宿泊地域を増やします。リテラーは適当に地域を想定します。



3. デモシステムの構成

3.1 デモ機器構成



3.2 デモにおける役割

(1) 宿泊施設の役割

- ・ 一定の数の部屋を資源として持ち、カレンダー日付による管理をする。
- ・ 部屋にはタイプ（洋室 / 和室、2人部屋 / 3人部屋 / 4人部屋）属性を持ち、それぞれのタイプ毎に部屋数を持つ。
- ・ 宿泊部屋に対して夕食と朝食をセットして商品とする。
- ・ 特長となる情報を持つ。（施設の写真、料理の紹介、温泉、プール、レストラン、カラオケ、ライブショー、エステ、スポーツジム、暗号化キー等）

(2) ホールセラーの役割

- ・ 宿泊施設から部屋在庫として部屋を仕入れて確保する。
- ・ ホールセラーは企画商品構成のために独自に航空座席や列車座席の在庫を持つ。
- ・ 部屋宿泊に航空座席、列車座席と組み合わせて旅行商品を企画・作成する。
- ・ 旅行商品をリテラーに販売委託する。
- ・ ホールセラーはリテラーに企画商品情報を提供する。

(3) リテラーの役割

- ・ ホールセラーから委託を受けた旅行商品を検索やパンフレット化して表示する。
- ・ 宿泊施設情報はUDDIを利用し、宿泊施設の提供する情報を参照する。
- ・ 追加料理やエステ等の予約を希望する場合は特記事項とする。現地払いとする。
- ・ クレジットカード情報にセキュリティを使用する。

(4) UDDIの役割

- ・ 宿泊施設やホールセラーの情報をもち検索する。

3.3 デモシナリオ

- 1) ホールセラーは、在庫を持つ宿泊施設を決めて契約する。（オフライン）
- 2) ホールセラーは、リテラーと系列の契約をする。（オフライン）
- 3) デモに使用する一定の期間を設定する。（例えば 2004/4/29 ~ 5/5 のGW等）
- 4) ホールセラーは契約した宿泊施設から期間中の宿泊在庫を確保する。
- 5) ホールセラーは確保した宿泊在庫に航空座席や鉄道座席を組み合わせて企画商品を作成し、リテラーに販売委託する。
- 6) リテラーはWeb等の方法で各企画商品を検索・選択し、予約可能な仕掛けを持つ。ホールセラー毎に並べたり、各社を比較させたりは自由。リテラー各社の違いが出せれば尚良い。
- 7) リテラーから予約要求を受けたホールセラーは在庫から予約分を割り当て、宿泊施設に在庫使用報告を行う。
- 8) 予約数に対し在庫が不足する場合、ホールセラーは宿泊施設に対して予約増分要求を行い在庫を確保する。それでも不足する場合は、在庫取引契約の無い宿泊施設に予約要求を行う。

3.4 JATAとのレビューによる指摘

1) UDDIとは何か

Webサービスを提供する各サイト情報を検索するためのサービスサイト。

2) 最初の在庫増室処理は何のためか。

現実社会では行われ無いと思うが、デモを行う上で宿泊施設とホールセラーの在庫数を一致させる為のこの処理を行うようにした。

3) 在庫増室回答のNAはNot Availableの略記。予約要求に対する回答のWLはWait Listの略記であるが、WLを返すことはない。UCを返すのが正しい。UCはUnable Confirmの略記。

了解。UCは仕様書に無いので追加の修正を依頼する。

4) 現実にはホールセラーが在庫取引のない宿泊施設にリクエスト通知で予約を要求することは考えられない。あり得るのは電話で仕入れ値等の条件を交渉する場合なのでこのような取引は無理。

了解。このケースを削除する。

5) 宿泊施設から他のホールセラーに在庫減室要求して部屋を確保するケースはあり得る。（但し現実には電話交渉等）。この処理が出来る場合、宿泊施設のメリットが大きい。

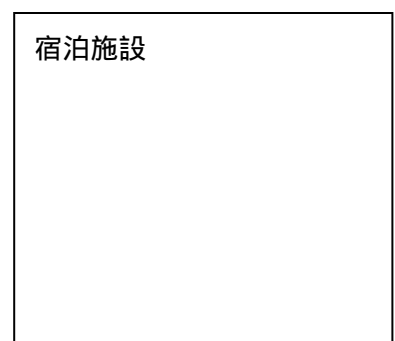
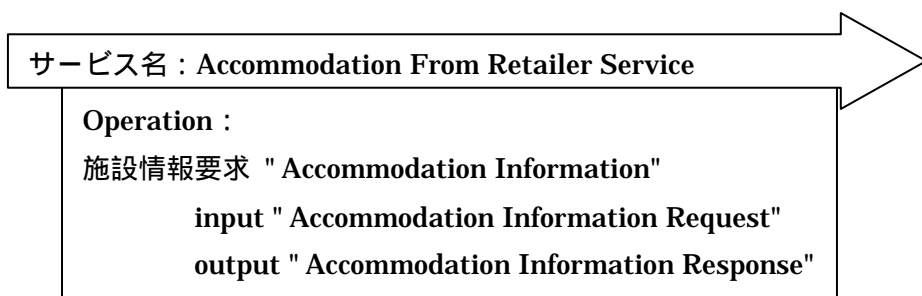
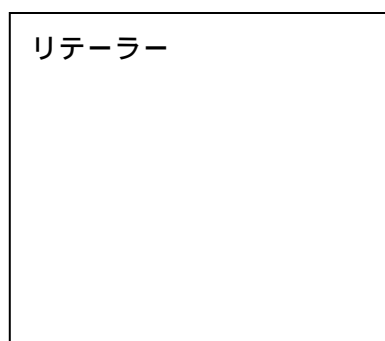
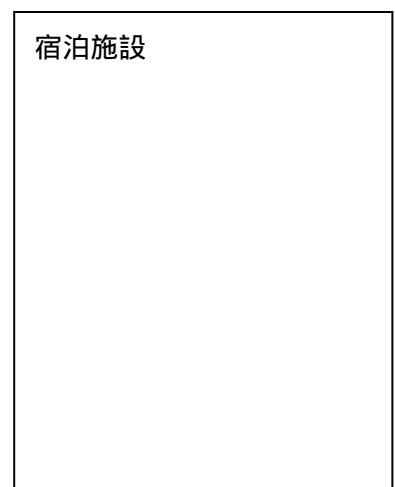
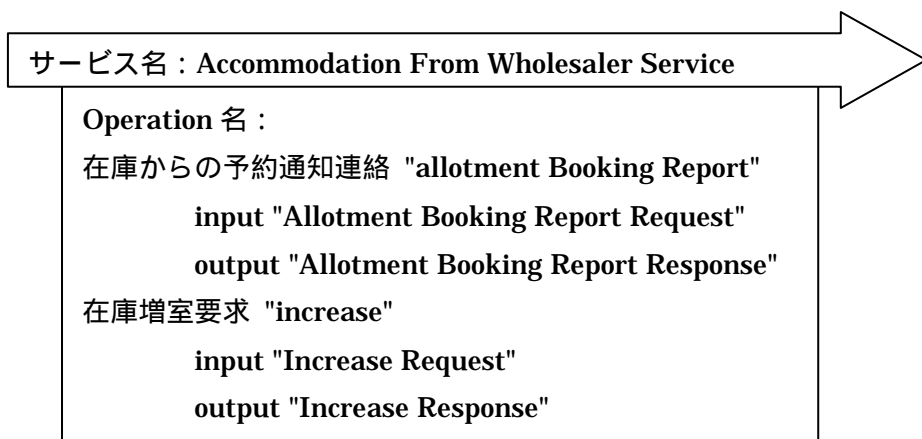
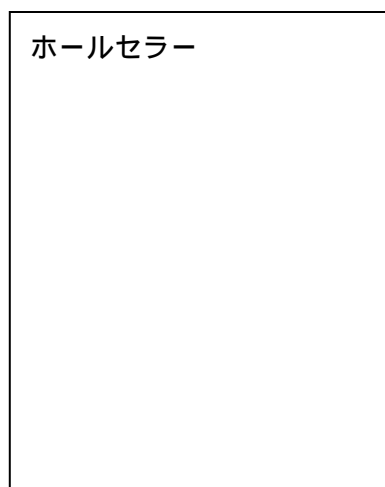
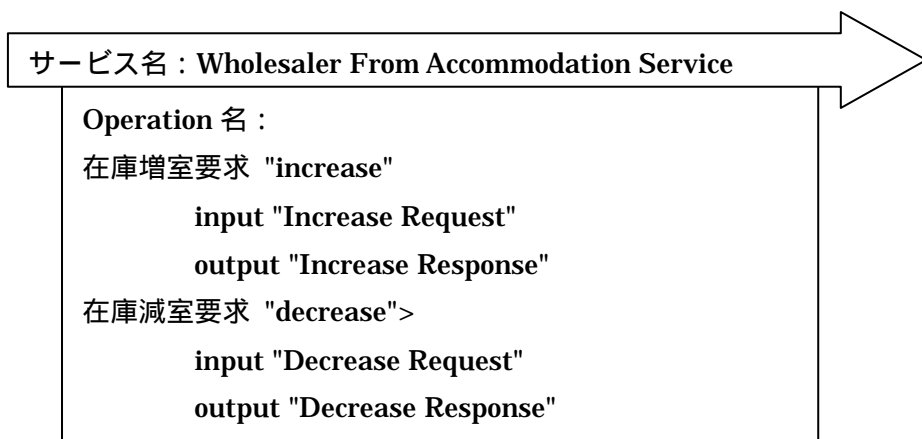
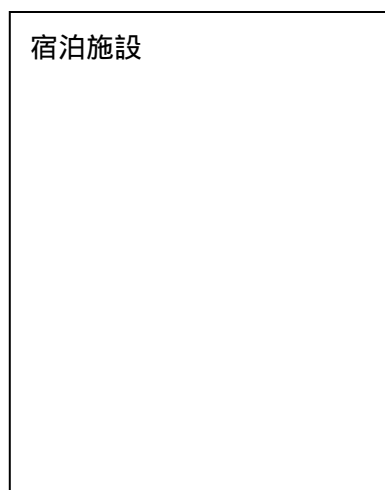
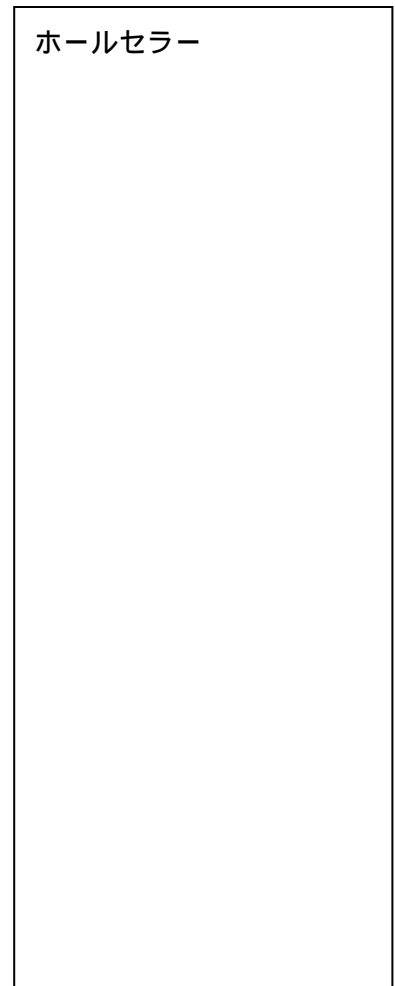
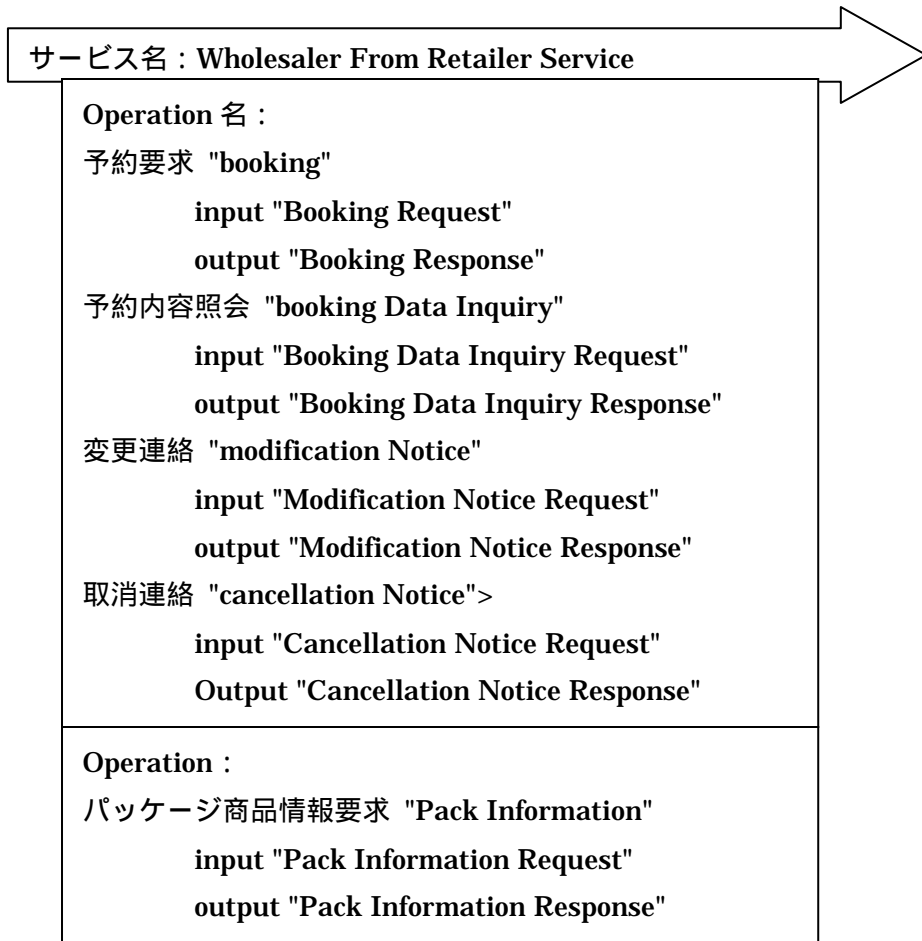
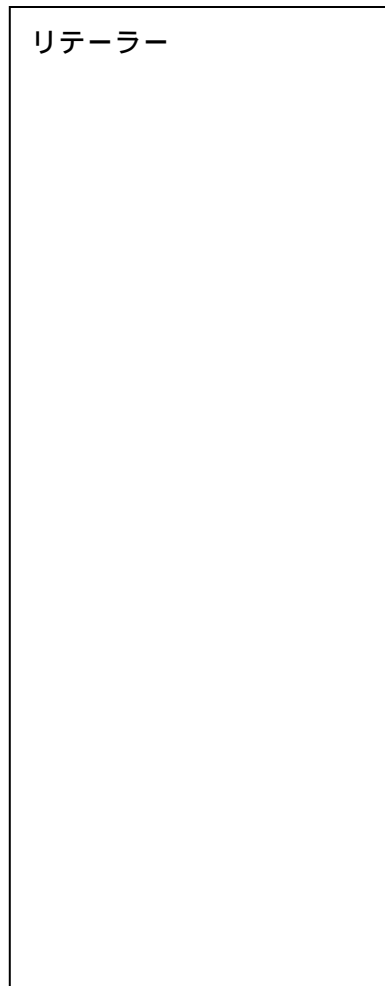
6) 変更連絡で予約を変更する場合、対象の項目が多くて大変である。もしデモでやりたければ変更出来る項目を限定したほうが良い。

了解。デモで使う項目を限定することで検討する。

7) 取消連絡は予約の全取消としなければ変更と同じように大変になる。

デモでは予約の全取消に限定する。

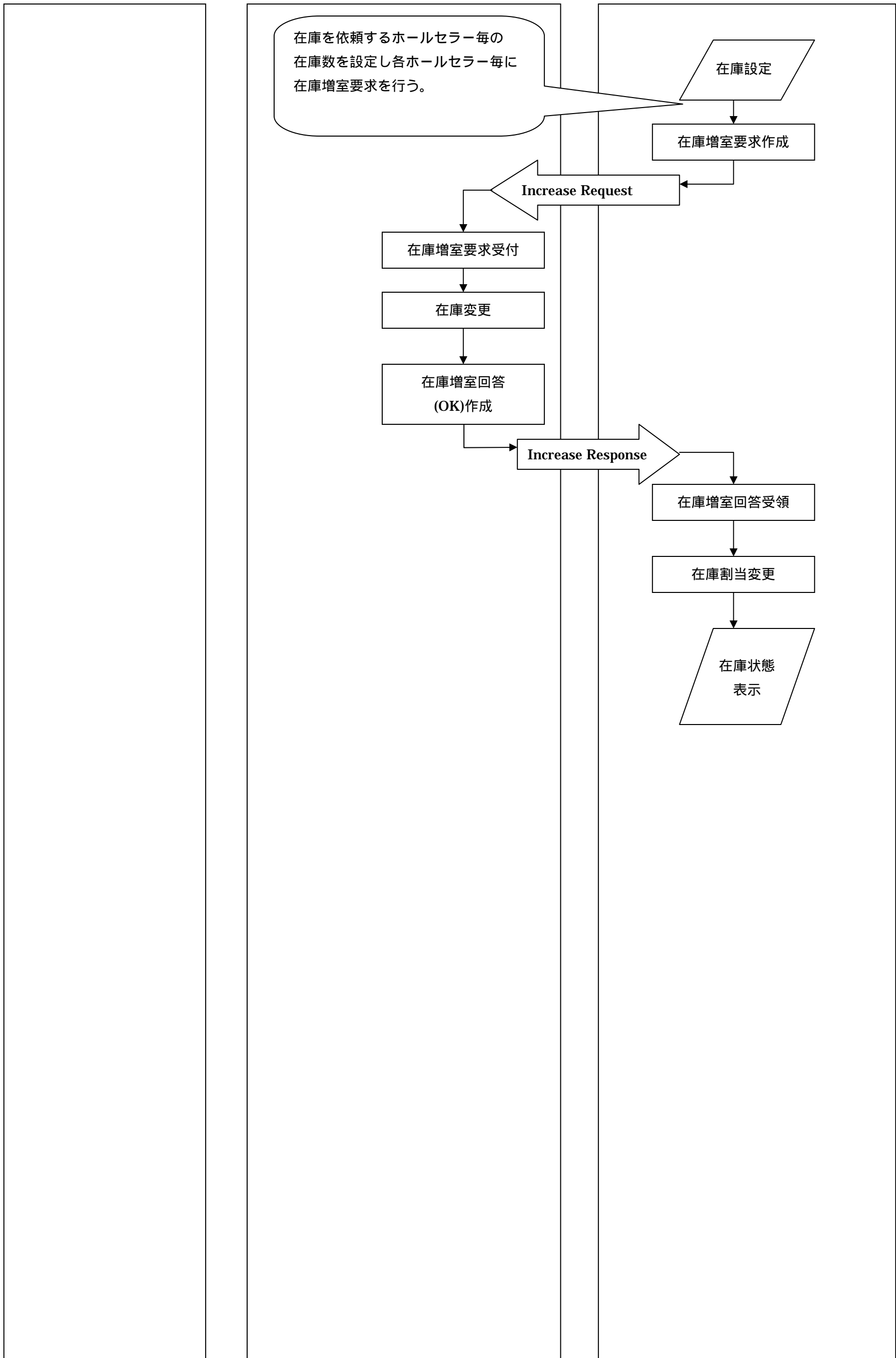
8) リテラーから宿泊だけ予約するケースは、決済 / 精算する仕掛けが無いので現実には実現できない。リクエスト通知を利用するケースが無い。新しい取引ケースの提案等の形でデモ出来ないか検討する。

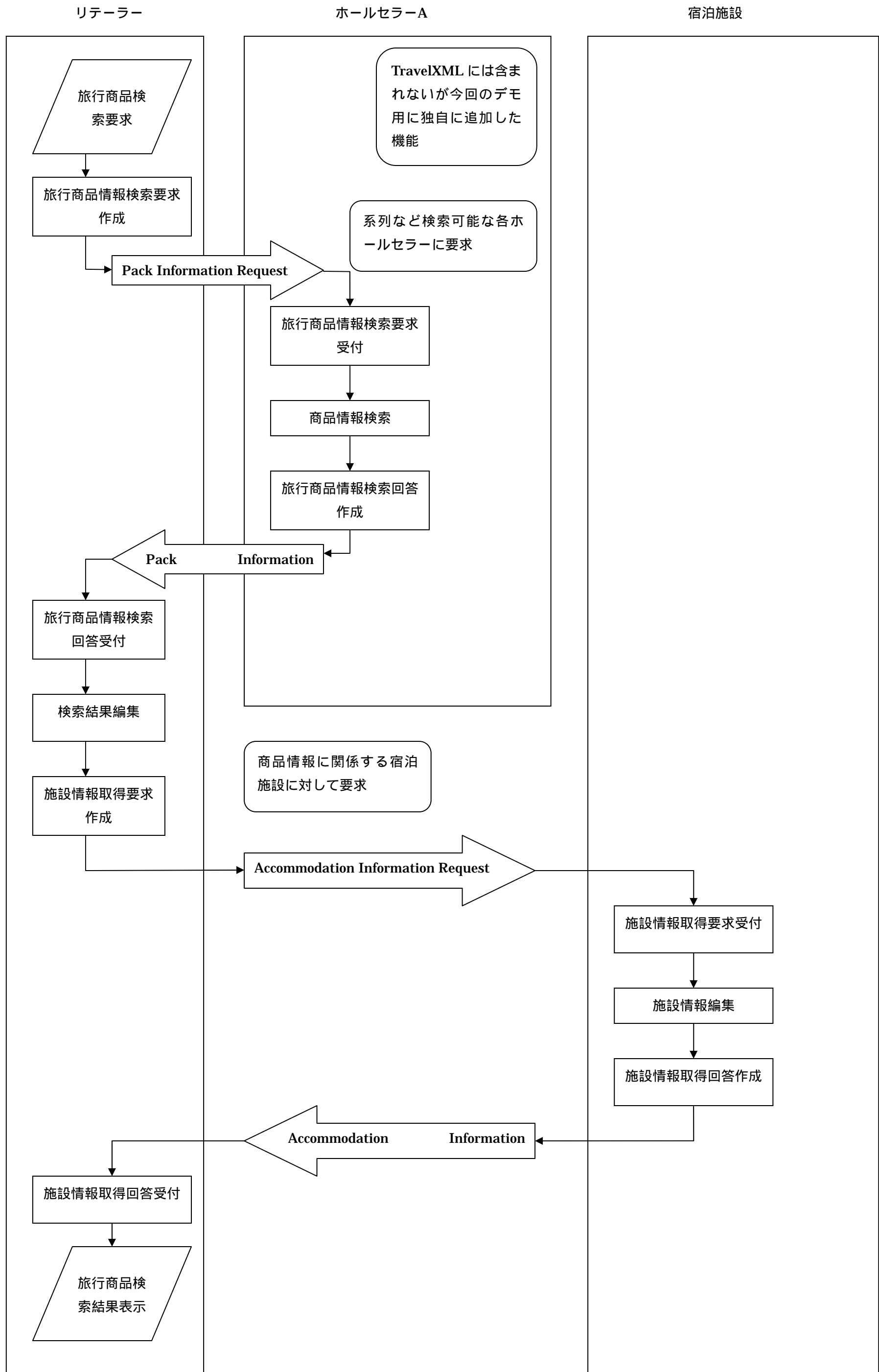


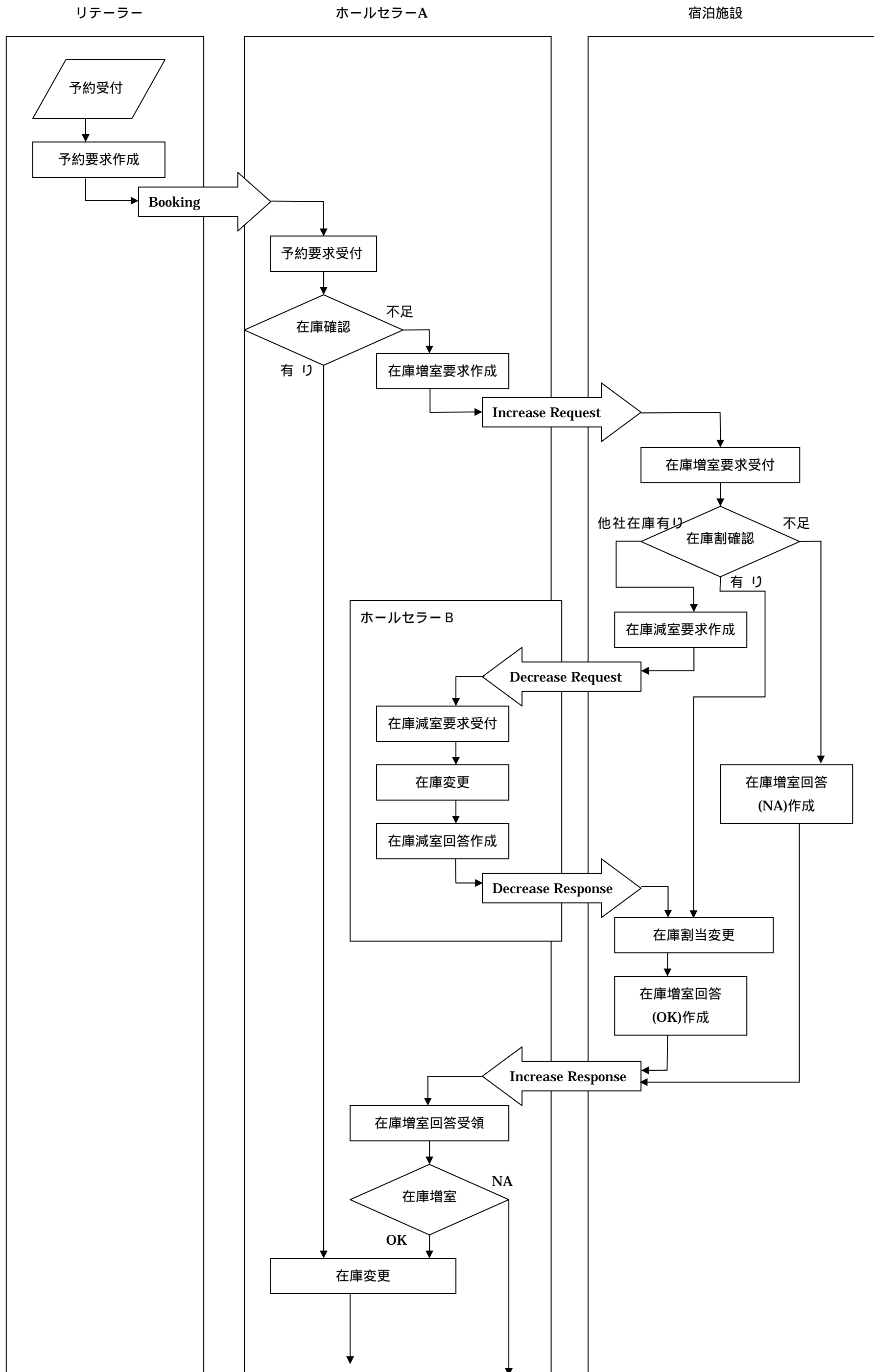
リテラー

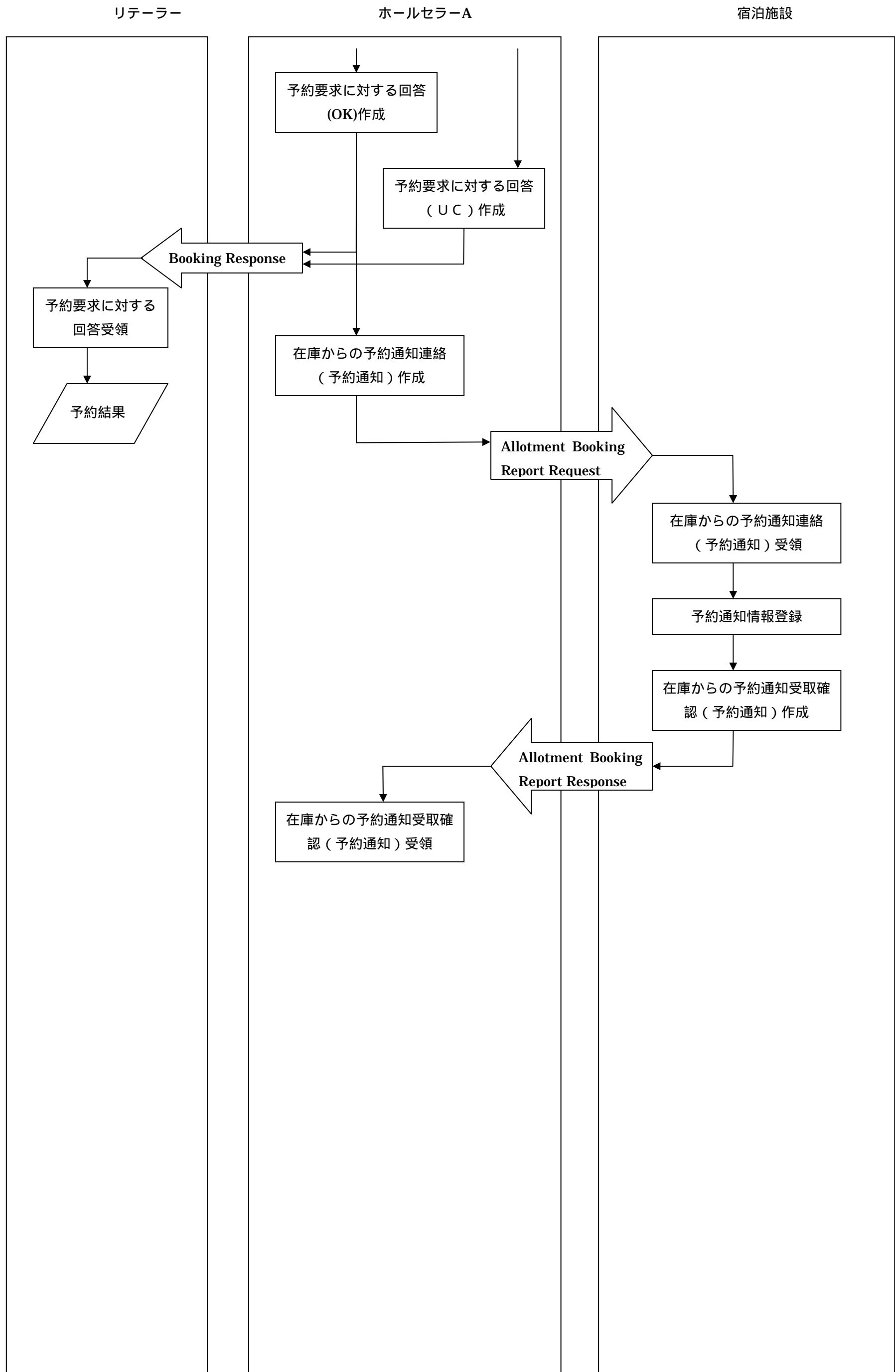
ホールセラー A B

宿泊施設





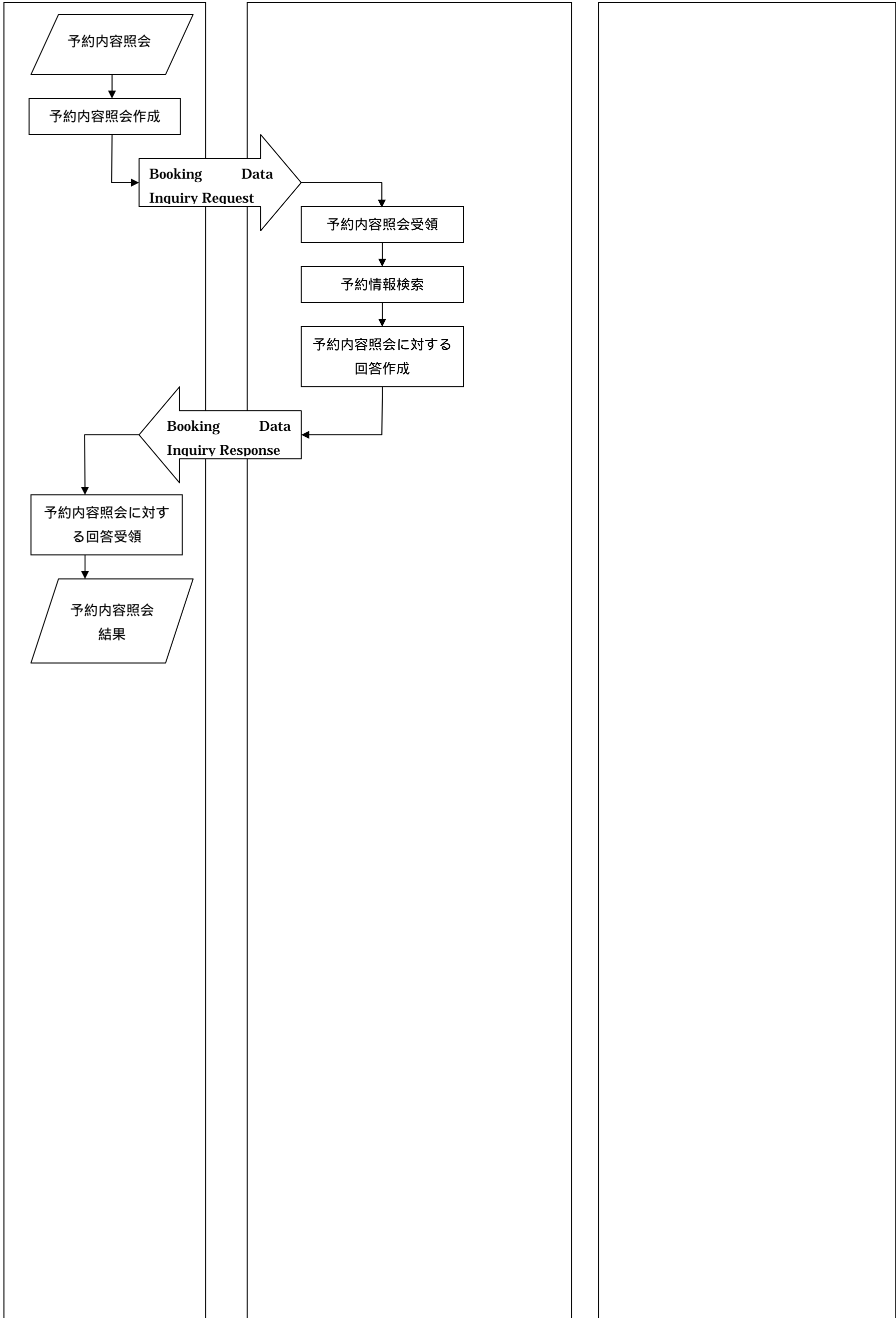




リテラー

ホールセラーA

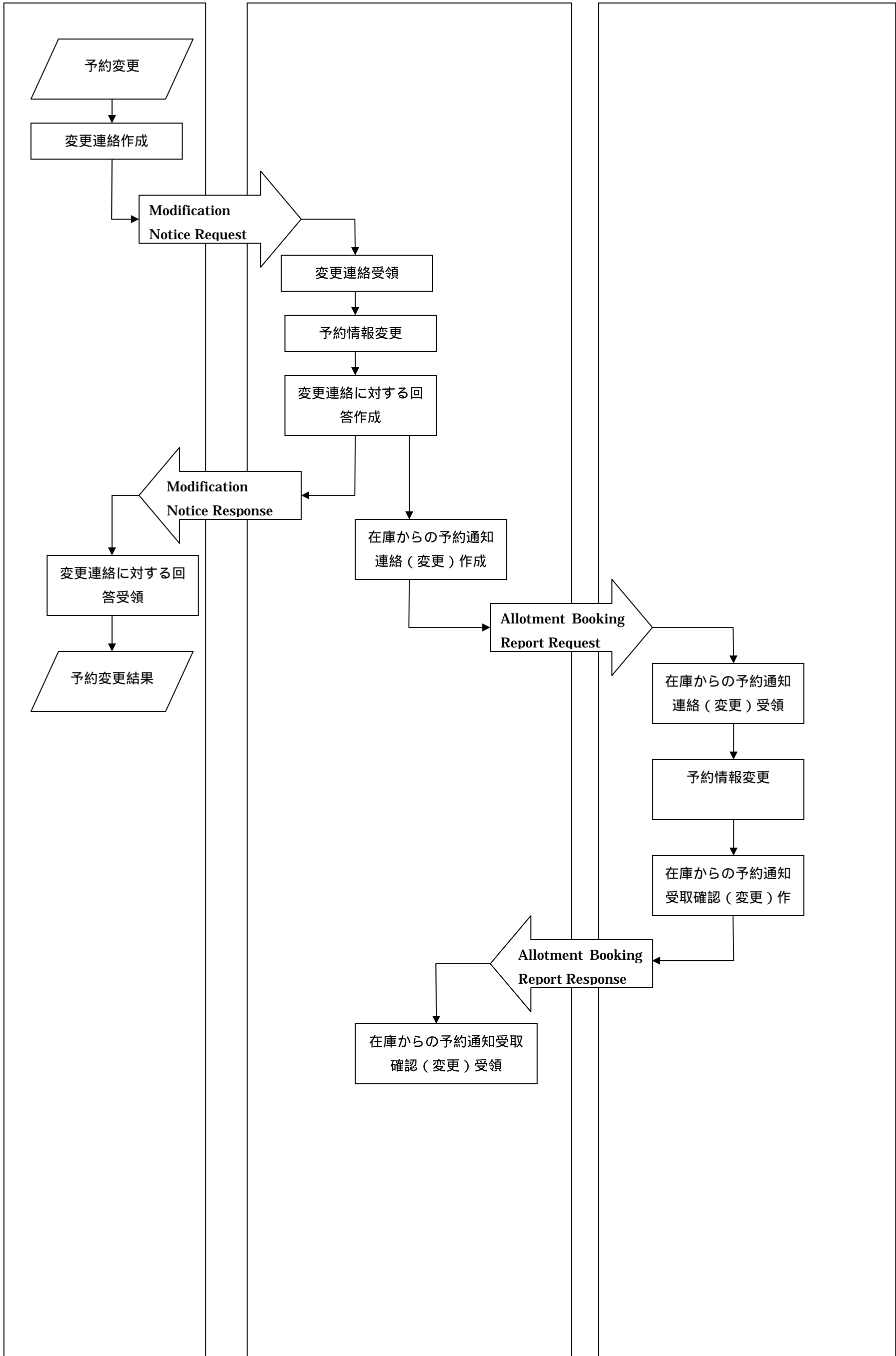
宿泊施設



リテラー

ホールセラーA

宿泊施設



リテラー

ホールセラーA

宿泊施設

